

長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略
施策・事業評価シート
(平成29年度末時点)

長久手市市長公室経営企画課

まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策・事業 評価結果一覧(平成29年度末時点)

基本目標1 役割・しごとづくり「誰もが活躍できる役割・しごとをつくる」

基本的方向	取組番号	施策・事業	評価	担当課等	ページ数
ア 市民の力を活かした新しい役割の仕組みをつくる	1	ながくて地域スマイルポイント事業	◎	福祉施策課	1
	2	市民総動員のまちの計画づくりプロジェクト	◎	経営企画課	2
	3	ながくて市民大学「いきいき！エルダー塾」	△	生涯学習課	3
イ 「農ある暮らし」で好循環をつくる	4	まちなか農縁支援事業	○	みどりの推進課	4
	5	長久手アグリサポートセンター事業	○	みどりの推進課	5
	6	農福連携支援事業(就労支援事業)	◎	福祉課	6
	7	田園バレー交流施設(あぐりん村)再整備事業	△	みどりの推進課	7
ウ 雇用の創出で地域を活性化させる	8	創業支援事業	○	たつせがある課	8
	9	住民起業支援塾	○	たつせがある課	9
	10	インターンシップバンク制度事業	△	たつせがある課	10

基本目標2 子育て支援「子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる」

基本的方向	取組番号	施策	評価	担当部署	ページ数
ア 妊娠から出産、育児への切れ目のない支援	11	産前産後ヘルパー派遣事業	◎	健康推進課	11
	12	出産祝い事業(木のおもちゃ等の支給)	◎	子育て支援課	12
	13	子育てコンシェルジュ設置事業	◎	子育て支援課	13
	14	休日保育の実施	○	子育て支援課	14
	15	産後健康診査事業	◎	健康推進課	15
イ 地域で支え合う子育て支援	16	保育園、児童館等での地域交流事業(「保育園おたすけたい」事業)	◎	子育て支援課	16
	17	地域学校サポート事業	○	教育総務課	17
	18	子どもチャレンジ事業(子どもの夢サポート事業)	△	教育総務課	18
	19	土曜日学習サポート事業	◎	生涯学習課	19
	20	放課後子ども教室の拡充	○	子育て支援課	20

基本目標3 地域コミュニティ・地域福祉「地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる」

基本的方向	取組番号	施策	評価	担当部署	ページ数
ア 市民が支え合うコミュニティをつくる	21	小さな拠点形成事業(まちづくり協議会設立と交流拠点整備)	○	たつせがある課	21
	22	市民と職員による市民協働プロジェクト	○	たつせがある課	22
	23	コミュニティ・ソーシャルワーカー配置事業	○	福祉施策課	23
	24	子ども防火活動事業	◎	安心安全課 (消防総務課から変更)	24
イ 市民の健康寿命を延ばす	25	健康チャレンジャー事業(健康マイレージ)	◎	健康推進課	25
	26	若者の生活習慣病予防事業(39歳以下健診)	△	健康推進課	26
	27	地域保健活動の充実	◎	健康推進課	27

基本目標4 観光交流「地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる」

基本的方向	取組番号	施策	評価	担当部署	ページ数
ア 地域資源を活かした長久手の魅力とオリジナリティを創造・発信する	28	シティプロモーション事業	○	たつせがある課	28
	29	ながくてアートフェスティバル	○	文化の家	29
	30	大学連携提案事業助成金事業	○	たつせがある課	30
	31	長久手版「プレーパーク」事業	△	みどりの推進課	31
イ 人が集まり情報の受発信が行われる交流の場の創造	32	リリモテラス整備事業	○	たつせがある課	32
	33	まちセンカフェ(まちづくりセンターを拠点とした市民団体による交流促進事業)	○	たつせがある課	33

施策・事業評価シート

基本目標	誰もが活躍できる役割・しごとをつくる	数値目標			
	市民一人ひとりが、「役割」と「居場所」を持ち、誰もが「必要とされている」ことが実感できる幸福度の高いまちを目指し、地域で活躍できる体制や仕組み作りを推進します。	指標名	基準値 (H26)	実績値 (H28)	目標値 (H31)
		地域で「たつせがある」と思う人の割合	20.1% (概ね5人に1人の割合)	21.5%	50% (概ね2人に1人の割合)
基本的方向	市民の力を活かした新しい役割分担の仕組みをつくる				
	本市には、様々な経験、知恵、技術を持つ市民がたくさんいます。その人たちが、このまちに住む当事者として持てる力を発揮し、まちづくりの担い手という役割を持つことが、今後の人口減少社会において求められます。特に定年後のリタイヤした人などを中心とする地域の人々が、地域における自分の役割と居場所を見い出して、住みよい地域にしていくための取組を進めます。これにより、市民が主体的になって考えていく「新しいまちのかたちの仕組みづくり」を推進します。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号1 ながくて地域スマイルポイント事業	担当課	福祉施策課		
施策・事業の概要	市民が、住み慣れたまちで健康に自分らしく暮らし続けられるように、市民活動を推進し、地域社会へのさらなる参加を促進するため、市民活動に参加した人に対してポイントを付与します。貯まったポイントを、様々な特典に交換できるようにし、まちを活性化させます。				
指標	地域スマイルポイント事業参加者数				
	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H31)	目標値の達成状況
	—	911人	1,294人	300人	431.3% ◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27		H28		H29
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始 ・福祉まつり等のイベントにて事業周知 ・ポイント交換者数 105人 		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉まつり等のイベントにて事業周知 ・ポイント交換者数 395人
課題	1時間に満たない短時間の活動も合算してポイントの対象となる仕組みが必要である。				
今後の方向性 (改善目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルポイント手帳登録者・交換者の増大 ・ポイント交換品の拡充(おもちゃ券やリモチャージ券の追加) ・スクールガード等短時間の活動への適用方法などの検討 		委員からの意見		
			<ul style="list-style-type: none"> ・定年後の高齢者にどうまちづくりに参加してもらえるかを考えていく必要があるが、本事業は効果的だと考える。 ・スマイルポイントを集めている人達に、もう少し役割を持ってもらえるような仕組みがあると良い。 		

施策・事業評価シート

基本目標	誰もが活躍できる役割・しごとをつくる		数値目標			
	市民一人ひとりが、「役割」と「居場所」を持ち、誰もが「必要とされている」ことが実感できる幸福度の高いまちを目指し、地域で活躍できる体制や仕組み作りを推進します。		指標名	基準値 (H26)	実績値 (H28)	目標値 (H31)
			地域で「たつせがある」と思う人の割合	20.1% (概ね5人に1人の割合)	21.5%	50% (概ね5人に1人の割合)
基本的方向	市民の力を活かした新しい役割分担の仕組みをつくる					
	本市には、様々な経験、知恵、技術を持つ市民がたくさんいます。その人たちが、このまちに住む当事者として持てる力を発揮し、まちづくりの担い手という役割を持つことが、今後の人口減少社会において求められます。特に定年後のリタイヤした人などを中心とする地域の人々が、地域における自分の役割と居場所を見い出して、住みよい地域にしていくための取組を進めます。これにより、市民が主体的になって考えていく「新しいまちのかたちの仕組みづくり」を推進します。					
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号2 市民総動員のまちの計画づくりプロジェクト			担当課	経営企画課	
施策・事業の概要	市民が主体となって、お互いが関わり合いながら手間、暇をかけて、総合計画等のまちの計画を策定します。					
指標	総合計画等策定に携わった市民数					
	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H31)	目標値の達成状況	
—	延べ0人／2年	延べ1,013人／3年	延べ1,000人／5年	101.3%	◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)	
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)
	—		<ul style="list-style-type: none"> ・H28 事業開始 ・市民意識調査や総合計画の愛称募集を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画のFacebookページを開設。 ・現状の課題や将来について考えるため、キックオフパーティー、小学校別ワークショップ等を実施。 ・テーマ別検討会議を開催し、7つの分野ごとに10年後の理想の姿を検討。また、理想の姿実現のための手段について検討。 ・学生がまちづくりのアイデアを提案する「学生まちづくり甲子園」を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10年後の理想の未来を実現するために、市民で取り組む内容をまとめた「市民まちづくりプラン」を策定するため、ワークショップを3回開催。 ・ワークショップの中で出た市民自らが考えた取組アイデアを「お試しアクション」として、お試しで実践する準備をチーム(10チーム)ごとに進めている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの参加者が固定化されつつあり、新規の参加者を増やしていくことが課題である。 ・策定した「市民まちづくりプラン」を、市民で推進していく体制づくりが課題である。 					
今後の方向性(改善目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度中に、総合計画・市民まちづくりプランを策定する予定である。 ・平成31年度以降に「市民まちづくりプラン」を、市民で推進していく体制をつくるため、有志の市民と検討を進めていく。 				委員からの意見	
					意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	誰もが活躍できる役割・しごとをつくる	数値目標			
	市民一人ひとりが、「役割」と「居場所」を持ち、誰もが「必要とされている」ことが実感できる幸福度の高いまちを目指し、地域で活躍できる体制や仕組み作りを推進します。	指標名	基準値 (H26)	実績値 (H28)	目標値 (H31)
		地域で「たつせがある」と思う人の割合	20.1% (概ね5人に1人の割合)	21.5%	50% (概ね2人に1人の割合)
基本的方向	市民の力を活かした新しい役割分担の仕組みをつくる				
	本市には、様々な経験、知恵、技術を持つ市民がたくさんいます。その人たちが、このまちに住む当事者として持てる力を発揮し、まちづくりの担い手という役割を持つことが、今後の人口減少社会において求められます。特に定年後のリタイヤした人などを中心とする地域の人々が、地域における自分の役割と居場所を見い出して、住みよい地域にしていくための取組を進めます。これにより、市民が主体的になって考えていく「新しいまちのかたちの仕組みづくり」を推進します。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号3 ながくて市民大学「いきいき！エルダー塾」	担当課	生涯学習課		
施策・事業の概要	60歳以上を対象とした「交流」、「居場所」づくりを目的とし、座学を中心とした教養講座だけでなく、様々な体験やグループでの話し合い等を通じて、「まちづくり」にも関与していく人材を育成します。				
指標	ながくて市民大学「いきいき！エルダー塾」参加者数				
	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H31)	目標値の達成状況
	延べ274人／年	延べ160人／年	延べ159人／年	延べ300人／年	53.0% △ ◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27		H28		H29
	一般コース※1 全13回延べ221人 専門コース※2 全6回延べ72人 延べ293人 ※1: 入門編として広い分野(防犯、スポーツ、環境、福祉など)について学ぶ講座 ※2: 一般コース受講生を対象に、受講生が福祉など特に興味を示した分野に特化して深く学ぶ講座		一般コース全13回延べ130人 専門コース全6回延べ30人		一般コース 全13回延べ130人 専門コース 全2回延べ29人
課題	参加者数が減少傾向にある。エルダー塾を通して、一部の参加者が市民活動に参画する事例は見られるが、目的達成に至っていない。「まちづくり」にも関与していく人材の育成とまではなっておらず、「体験型の講座」にとどまっている。				
今後の方向性 (改善目標)	60歳以上に対象を限定していたものを多世代との交流を深めるため、幅広い世代に対して募集を行う。また、特定分野に絞った企画等を行い、専門性を高め、分野ごとで「まちづくり」に関与していく人材の育成を進める。				委員からの意見
					・テーマが幅広いため、「まちづくり」というテーマにしぼってはどうか。 (たつせがある課と調整要)

施策・事業評価シート

基本目標	誰もが活躍できる役割・しごとをつくる	数値目標			
	市民一人ひとりが、「役割」と「居場所」を持ち、誰もが「必要とされている」ことが実感できる幸福度の高いまちを目指し、地域で活躍できる体制や仕組み作りを推進します。	指標名	基準値 (H26)	実績値 (H28)	目標値 (H31)
		地域で「たつせがある」と思う人の割合	20.1% <small>(概ね5人に1人の割合)</small>	21.5%	50% <small>(概ね2人に1人の割合)</small>
基本的方向					
「農ある暮らし」で好循環をつくる 市内に存在する遊休農地・低未利用農地を、農に関心を持つ人や障がい者・高齢者等、多くの市民が農に親しみ、農と触れ合いながら、役割や生きがいづくりにつなげます。 また、里山の保全・活用、地産地消、観光誘客など、「農」の持つ多様な機能を活かし、「農」を中心に様々な活動を結びつけることで、新たな仕事や雇用を生む「農」を中心とした地域の好循環をつくります。					
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号4 まちなか農縁支援事業	担当課	みどりの推進課		
施策・事業の概要	都市部の市民が、「農」と触れ合う機会を増やすため、市民、NPO、農業者等の団体が取り組む多様な活動や付随する施設の整備を支援します。また、高齢者や障がい者を対象とした福祉農園や、放置された市街化区域内の空き地を利用する農園等の整備も支援します。				
指標	まちなか農縁参加者数				
	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H31)	目標値の達成状況
	30人	20人	108人	150人	72.0%
	◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)				
これまでの取組内容	H27		H28		H29
	・長久手市仏が根地内でまちなか農縁を開園 ・名古屋外国語大学の学生と連携し、野菜の栽培や収穫体験を実施 ※農園の付随施設(水道設備、器具庫など)は、利用者の工夫により簡易なもので対応できている。		・名古屋外国語大学の学生と連携し、野菜の栽培や収穫体験を実施		・名古屋外国語大学の学生と連携し、近隣住民を対象とした野菜の栽培や収穫体験を実施
課題	野菜づくり体験や収穫体験の参加者は増えているが、継続的に栽培管理(日常の草取りなど)に参加する住民の参加が増えないことが課題である。				
今後の方向性(改善目標)	栽培管理の体験も充実させ、多様な市民が継続的に野菜づくりに携われる機会をつくる。			委員からの意見	
				意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	誰もが活躍できる役割・しごとをつくる		数値目標			
	市民一人ひとりが、「役割」と「居場所」を持ち、誰もが「必要とされている」ことが実感できる幸福度の高いまちを目指し、地域で活躍できる体制や仕組み作りを推進します。		指標名	基準値 (H26)	実績値 (H28)	目標値 (H31)
			地域で「たつせがある」と思う人の割合	20.1% (概ね5人に1人の割合)	21.5%	50% (概ね2人に1人の割合)
基本的方向	「農ある暮らし」で好循環をつくる					
	市内に存在する遊休農地・低未利用農地を、農に関心を持つ人や障がい者・高齢者等、多くの市民が農に親しみ、農と触れ合いながら、役割や生きがいづくりにつなげます。 また、里山の保全・活用、地産地消、観光誘客など、「農」の持つ多様な機能を活かし、「農」を中心に様々な活動を結びつけることで、新たな仕事や雇用を生む「農」を中心とした地域の好循環をつくります。					
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号5 長久手アグリサポートセンター事業			担当課	みどりの推進課	
施策・事業の概要	市内の農に関わるあらゆる取組を応援する「(仮称)長久手アグリサポートセンター」を設立し、まちなか農縁支援、農地のマッチング、農機具の貸出し、農楽校※や市民農園(たがやっせ)の運営を支援します。 ※農楽校とは、市民を対象とした「農業の基礎知識」から「実践的応用技術」までを学ぶことができる場のこと。					
指標	新規就農者数(法人を含む)					
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況	
	12人	18人/2年	19人/3年	20人/5年	95.0%	○ ◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)
	<ul style="list-style-type: none"> ・空き農地等の情報を収集 		<ul style="list-style-type: none"> ・空き農地等の情報を収集 ・アグリサポートセンターの事業内容、組織体制を検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・アグリサポートセンターの事業内容、組織体制を検討 ・農業者を対象に、将来的な農業経営や農地利用についての意向調査アンケートを実施(600件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アグリサポートセンターの事業内容、組織体制を検討
課題	・アグリサポートセンターの事業内容及び組織体制について具体的な検討をするにあたり、農業者の意向や用水路の整備状況、土地の利用状況等について調査が不十分である。					
今後の方向性(改善目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、未実施分の農家意向調査アンケートを実施する(800件)。 ・アグリサポートセンターの設立に向け、必要となる用水路の整備状況や土地の利用状況についての資料収集や調査を行う。 			委員からの意見		
				意見なし		

施策・事業評価シート

基本目標	誰もが活躍できる役割・しごとをつくる		数値目標			
	市民一人ひとりが、「役割」と「居場所」を持ち、誰もが「必要とされている」ことが実感できる幸福度の高いまちを目指し、地域で活躍できる体制や仕組み作りを推進します。		指標名	基準値 (H26)	実績値 (H28)	目標値 (H31)
			地域で「たつせがある」と思う人の割合	20.1% (概ね2人に1人の割合)	21.5%	50% (概ね2人に1人の割合)
基本的方向	「農ある暮らし」で好循環をつくる					
	市内に存在する遊休農地・低未利用農地を、農に関心を持つ人や障がい者・高齢者等、多くの市民が農に親しみ、農と触れ合いながら、役割や生きがいづくりにつなげます。 また、里山の保全・活用、地産地消、観光誘客など、「農」の持つ多様な機能を活かし、「農」を中心に様々な活動を結びつけることで、新たな仕事や雇用を生む「農」を中心とした地域の好循環をつくります。					
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号6 農福連携支援事業(就労支援事業)			担当課	福祉課	
施策・事業の概要	障がい者や生活困窮者の多様な就労機会を創出し、人手不足により耕作放棄地となっている農地の有効活用のため、自立支援農園の開設、整備、運営を支援します。					
指標	農福連携支援事業参加者数					
	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H31)	目標値の達成状況	
	—	28人	58人	10人	580.0%	◎
					◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)	
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)
	・市内4福祉事業所が真行田や杵ノ洞地内などで週1回程度の頻度で障がいのある方を対象とした農作業体験を実施		・市内4福祉事業所が真行田や杵ノ洞地内などで週1回程度の頻度で障がいのある方を対象とした農作業体験を実施		・市内5福祉事業所が真行田や杵ノ洞地内などで週1回程度の頻度で障がいのある方を対象とした農作業体験を実施	・市内5福祉事業所が真行田や杵ノ洞地内などで週1回程度の頻度で障がいのある方を対象とした農作業体験を実施
課題	参加数は増加しているが、市内事業所が活動の一環として農作業に取り組むのみとなっており、雇用の拡大や売上の向上にはつながっていない。					
今後の方向性 (改善目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して農作業体験を実施するとともに、農福連携の取組について先進事例等の情報収集を行う。 ・雇用の拡大に向け、各事業所における取組の現状と課題を把握し、収集した情報を基に、本市に合った農福連携の取組方法について検討する。 				委員からの意見	
					意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	誰もが活躍できる役割・しごとをつくる	数値目標			
	市民一人ひとりが、「役割」と「居場所」を持ち、誰もが「必要とされている」ことが実感できる幸福度の高いまちを目指し、地域で活躍できる体制や仕組み作りを推進します。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		地域で「たつせがある」と思う人の割合	20.1% (概ね5人に1人の割合)	21.5%	50% (概ね2人に1人の割合)
基本的方向	「農ある暮らし」で好循環をつくる				
	市内に存在する遊休農地・低未利用農地を、農に関心を持つ人や障がい者・高齢者等、多くの市民が農に親しみ、農と触れ合いながら、役割や生きがいづくりにつなげます。 また、里山の保全・活用、地産地消、観光誘客など、「農」の持つ多様な機能を活かし、「農」を中心に様々な活動を結びつけることで、新たな仕事や雇用を生む「農」を中心とした地域の好循環をつくります。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号7 田園バレー交流施設(あぐりん村)再整備事業			担当課	みどりの推進課
施策・事業の概要	田園バレー交流施設(あぐりん村)の新たな魅力を創出するために、売り場の充実等を含めた再整備を行います。長久手温泉ござらっせの温泉施設と産直・体験施設の集客相乗効果により、市内外の住民、農家、消費者を巻き込む産業振興・観光・福祉拠点を形成します。				
指標	あぐりん村来場者数				
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況
	延べ470,000人 ／年	延べ455,193人 ／年	延べ444,815人 ／年	延べ550,000人 ／年	80.9% △ ◎…目標達成 ○…実績値(H28)≤実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27		H28		H29
	・福祉の家・田園バレー交流施設再整備構想策定に向けた準備		・福祉の家・田園バレー交流施設再整備構想策定		・(株)長久手温泉アグリ事業部と再整備スケジュール等について協議
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣に開業した大型商業施設の影響等によって来場者数が伸び悩んでいる。 ・産地直売所増築によって予想される来場者の増加に伴い、駐車場台数を確保する必要がある。 ・来場者及び出荷者の要望を吸い上げ、計画に反映する必要がある。 				
今後の方向性(改善目標)	委員からの意見				
	<ul style="list-style-type: none"> ・あぐりん村屋根増設工事の実施(H30.8.2~H30.11.30) ・あぐりん村再整備実施設計の実施(H31) ・あぐりん村再整備工事の実施(H32) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標「誰もが活躍できる役割・しごとをつくる」の中の施策・事業になっているため、農を通じた役割・しごとづくりという観点についても意識した方が良いのではないか。 ・ハード面の整備も重要ではあるが、あぐりん村は、置いてある商品の質も良く、隣接する温泉も良いため、運営者のソフト面の工夫においても、来場者は伸ばせると思う。 ・生産者が作った野菜をより多く売り場に並べられると、生産者のモチベーションも上がると考えられるため、売り場面積の拡大は良いと考える。 ・再整備については、周辺の道路環境についても考えていけると良い。 ・来場者を増やすには、子どもが喜びそうなイベントを実施すると良い。子どもが興味を持つと必然的に親も来ることになるので、来場者の増加が見込める。 			

施策・事業評価シート

基本目標	誰もが活躍できる役割・しごとをつくる	数値目標				
	市民一人ひとりが、「役割」と「居場所」を持ち、誰もが「必要とされている」ことが実感できる幸福度の高いまちを目指し、地域で活躍できる体制や仕組み作りを推進します。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)	
		地域で「たつせがある」と思う人の割合	20.1% (概ね5人に1人の割合)	21.5%	50% (概ね2人に1人の割合)	
基本的方向						
雇用の創出で地域を活性化させる						
市内に新たなビジネスや雇用を創出し、地域経済の活性化につなげるため、創業希望者を掘り起こし、起業しやすい環境を整備します。また、市内及び近隣に大学が多数立地することから、学生の地域での就職に向けた取組を進めます。						
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号8 創業支援事業	担当課	たつせがある課			
施策・事業の概要	市内に潜在的に存在する創業希望者を掘り起こすため、自治体、金融機関、商工会、大学が連携し、窓口相談、創業セミナー、融資などによる創業支援体制を構築し、本市での創業を支援します。 この支援を近隣市町と連携して行うことにより、事業者が増え、新たな雇用が創出され、地域がにぎわう好循環をつくります。					
指標	創業者数	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況
	—	2人/2年	11人/3年	20人/5年	55.0%	○ ◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	—	H27	H28	H29	H30(7月末まで)	
			<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始 ・市町村窓口及びその他16施設で創業希望者及び創業者へのワンストップ相談窓口の開設 ・創業支援セミナーを4回開催し、市内在住者4名が参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村窓口及びその他16施設で創業希望者及び創業者へのワンストップ相談窓口の開設 ・創業支援セミナーを5回開催し、市内在住者3名が参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村窓口及びその他16施設で創業希望者及び創業者へのワンストップ相談窓口の開設 	
課題	商工会や金融機関への相談件数は平成28年度1件から29年度11件と増加しており、創業者も増加している。今後も、さらなる創業希望者を掘り起こすことが必要になる。					
今後の方向性(改善目標)	9月から創業支援セミナー(5回)を開催にむけ、積極的にPRを行っていく。	委員からの意見				
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の職業安定所に募集チラシを置くなど、周知方法を工夫した方が良い。 ・起業することは簡単にできるが、いかに続けていくかが難しいため、新規起業を生むだけでなく、育てることを考えるべきである。 				

施策・事業評価シート

基本目標	誰もが活躍できる役割・しごとをつくる	数値目標			
	市民一人ひとりが、「役割」と「居場所」を持ち、誰もが「必要とされている」ことが実感できる幸福度の高いまちを目指し、地域で活躍できる体制や仕組み作りを推進します。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		地域で「たつせがある」と思う人の割合	20.1% (概ね5人に1人の割合)	21.5%	50% (概ね2人に1人の割合)
基本的方向	雇用の創出で地域を活性化させる				
	市内に新たなビジネスや雇用を創出し、地域経済の活性化につなげるため、創業希望者を掘り起こし、起業しやすい環境を整備します。また、市内及び近隣に大学が多数立地することから、学生の地域での就職に向けた取組を進めます。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号9 住民起業支援塾	担当課	たつせがある課		
施策・事業の概要	地域の課題を市民が主体となって解決することを目指す「コミュニティビジネス」の起業に必要となる知識を学ぶ機会を提供します。				
指標	コミュニティビジネス起業家数				
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況
	2人	3人/2年	6人/3年	10人/5年	60.0% ○ ◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27		H28		H29
	<ul style="list-style-type: none"> ・6名が参加する住民起業支援塾を8回開催 ・延べ48名 	<ul style="list-style-type: none"> ・7名が参加する住民起業支援塾を8回開催 ・延べ56名 	<ul style="list-style-type: none"> ・5名が参加する住民起業支援塾を8回開催 ・延べ37名 	県や周辺市町村の起業支援塾の実績等の調査に着手	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が年々少なくなっている。 ・起業支援塾受講後のアフターフォローが出来ていないため、方法等を検討する必要がある。 				
今後の方向性(改善目標)	10月から開始予定の起業支援塾に向けて、起業希望者のニーズに応じた内容、対象、開催日時等について検討する。		委員からの意見		
			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の職業安定所に募集チラシを置くなど、周知方法を工夫した方が良い。 ・起業することは簡単にできるが、いかに続けていくかが難しいため、新規起業者を生むだけでなく、育てることを考えるべきである。 		

施策・事業評価シート

基本目標	誰もが活躍できる役割・しごとをつくる		数値目標			
	市民一人ひとりが、「役割」と「居場所」を持ち、誰もが「必要とされている」ことが実感できる幸福度の高いまちを目指し、地域で活躍できる体制や仕組み作りを推進します。		指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
			地域で「たつせがある」と思う人の割合	20.1% (概ね5人に1人の割合)	21.5%	50% (概ね2人に1人の割合)
基本的方向	雇用の創出で地域を活性化させる					
	市内に新たなビジネスや雇用を創出し、地域経済の活性化につなげるため、創業希望者を掘り起こし、起業しやすい環境を整備します。また、市内及び近隣に大学が多数立地することから、学生の地域での就職に向けた取組を進めます。					
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号10 インターンシップバンク制度事業			担当課	たつせがある課	
施策・事業の概要	企業、団体に協力を呼びかけ、現在、市役所及び市関連施設が実施しているインターンの受け入れ先を拡大し、希望する大学生を受け入れるインターンシップバンク制度を構築します。					
指標	インターンシップ参加者数					
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況	
	—	—	—	20人	0.0%	△
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)
	—		先進事例の調査・研究(東京都世田谷区)		「大学連携推進ビジョン4U」に、「インターンシップ事業との連携を視野に入れる」と明記	企業や団体との連携において、事業実現の可能性についての検討に着手
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大学では既に、地域の企業・団体へのインターンシップを独自に行っている。 ・市役所でのインターン受入の要望があるが、受入体制づくりが進んでいない。 					
今後の方向性(改善目標)	大学と市役所だけでなく、企業や団体と連携する事業を実施する中で、インターンシップの可能性を探り、インターンシップバンクのあり方を各大学と共に検討する。			委員からの意見		
				<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップについては、既に民間企業に浸透しているおり、各大学独自で民間企業と連携し、インターンシップを行っているため、行政が入る余地はないのではないか。 ・民間企業で働いているが、人手が足りていないと感じている。インターンシップバンク制度事業は、大学生だけでなく、高校生や現在働いていない人にも対象を広げてはどうか。 		

施策・事業評価シート

基本目標	子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる	数値目標			
	子育て世代の環境を改善し、共働きがしやすい環境の実現に向けた支援を進めます。保育サービスや教育環境の充実を進めるとともに、身近な地域で支え合う多様な視点に立った子育てしやすいまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		合計特殊出生率	1.55	-	1.6
安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思ふ人の割合	50.8% <small>(概ね2人に1人の割合)</small>	51.8%	65% <small>(概ね3人に2人の割合)</small>		
基本的方向	妊娠から出産、育児への切れ目のない支援				
	子どもを産み育てようとする親や子育てを行っている親が、不安や孤立感、負担感を乗り越えられるよう様々な支援を行う必要があります。特に、子どもを安心して産み育てられる環境の整備のため、親子の健康支援や情報提供、相談支援体制等、子どもやその家族を含めた総合的な支援を実施します。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号11 産前産後ヘルパー派遣事業			担当課	健康推進課
施策・事業の概要	妊娠中又は出産後の体調不良等により、家事や育児が困難な方に対し、家事ヘルパーを派遣し、家事や育児の援助を行い、安心した生活ができるように支援します。				
指標	産前産後ヘルパー利用登録者数				
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況
	-	39人/年	52人/年	50人/年	104.0% ◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27		H28		H29
	・親子(母子)健康手帳交付後から生後6か月になるまでの市内在住者に対し、家事援助を行うヘルパーを派遣 (利用料700円。1回2時間までを最大40回) ※利用者数 11人		・親子(母子)健康手帳交付後から生後6か月になるまでの市内在住者に対し、家事援助を行うヘルパーを派遣 (利用料700円。1回2時間までを最大40回) ※利用者数 16人		・親子(母子)健康手帳交付後から生後6か月になるまでの市内在住者に対し、家事援助を行うヘルパーを派遣 (利用料700円。1回2時間までを最大40回) ※利用者数 13人
課題	登録申請について、妊娠中や産後に来庁するのは大変な場合もあり、手続きがしづらい。				
今後の方向性(改善目標)	登録希望者の申請手続きについて、親子(母子)健康手帳別冊に申請書を綴じ込みし、更なる事業周知の強化と申請書が手元にあることで提出しやすいように事務改善をし、利便性を向上させる。			委員からの意見	
				意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる	数値目標			
	子育て世代の環境を改善し、共働きがしやすい環境の実現に向けた支援を進めます。保育サービスや教育環境の充実を進めるとともに、身近な地域で支え合う多様な視点に立った子育てしやすいまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		合計特殊出生率	1.55	-	1.6
安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思える人の割合	50.8% <small>(概ね2人に1人の割合)</small>	51.8%	65% <small>(概ね3人に2人の割合)</small>		
基本的方向	妊娠から出産、育児への切れ目のない支援				
	子どもを産み育てようとする親や子育てを行っている親が、不安や孤立感、負担感を乗り越えられるよう様々な支援を行う必要があります。特に、子どもを安心して産み育てられる環境の整備のため、親子の健康支援や情報提供、相談支援体制等、子どもやその家族を含めた総合的な支援を実施します。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号12 出産祝い事業(木のおもちゃ等の支給)			担当課	子育て支援課
施策・事業の概要	友好都市である長野県南木曾町との地域間交流事業として、木曾の木材を使用した木のおもちゃ等を出産祝いとして配布します。				
指標	出産祝いを届ける家庭数				
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況
	-	636家庭/年	640家庭/年	500家庭/年	128.0% ◎ ◎…目標達成 ○…実績値(H28)≤実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27		H28		H29
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始 ・市役所から対象家庭あてに「出産祝い品申込書」を送付(約9割の家庭が申請) 		<ul style="list-style-type: none"> ・市役所から対象家庭あてに「出産祝い品申込書」を送付(約9割の家庭が申請) 		<ul style="list-style-type: none"> ・市役所から対象家庭あてに「出産祝い品申込書」を送付(約9割の家庭が申請)
課題	なし				
今後の方向性(改善目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・出産祝い品についてのアンケートを行い、出産祝い品の精査を行う。 				委員からの意見
					意見なし

施策・事業評価シート

基本目標	子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる	数値目標			
	子育て世代の環境を改善し、共働きがしやすい環境の実現に向けた支援を進めます。保育サービスや教育環境の充実を進めるとともに、身近な地域で支え合う多様な視点に立った子育てしやすいまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		合計特殊出生率	1.55	-	1.6
安心して子どもを産み、育てることができるまちだと 思う人の割合	50.8%	51.8%	65%	(概ね2人に1人の割合) (概ね3人に2人の割合)	
基本的方向	妊娠から出産、育児への切れ目のない支援				
	子どもを産み育てようとする親や子育てを行っている親が、不安や孤立感、負担感を乗り越えられるよう様々な支援を行う必要があります。特に、子どもを安心して産み育てられる環境の整備のため、親子の健康支援や情報提供、相談支援体制等、子どもやその家族を含めた総合的な支援を実施します。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号13 子育てコンシェルジュ設置事業			担当課	子育て支援課
施策・事業の概要	『子育てコンシェルジュ』として、子育て支援サービス等の情報提供、関連施設との連絡調整業務、サービス利用に関する相談業務、待機中の方へのアフターフォロー業務及び小学校低学年の放課後の居場所へのつなぎを行います。子どもを持つ保護者の相談に応じ、保護者のニーズと提供できる子育て支援サービス(幼稚園など一部教育サービスも含む)を適切に結びつけます。				
指標	子育てコンシェルジュ相談件数				
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況
	-	延べ225件/年	延べ779件/年	延べ100件/年	779.0%
これまでの取組内容	H27		H28		H29
	-		<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始 ・週4日、子育て支援課にコンシェルジュ1名(社会福祉士)を配置 ①保育を中心とした相談、助言 ②保育施設に関する情報提供・連絡調整 ③待機児童へ他の子育て支援制度につなぐためのアドバイスをを行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・週4日、子育て支援課にコンシェルジュ1名(社会福祉士)を配置 ①保育を中心とした相談、助言 ②保育施設に関する情報提供・連絡調整 ③待機児童へ他の子育て支援制度につなぐためのアドバイスをを行った。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容が、保育だけでなく、子どもの発達や、生活面についての相談を受けることもあり、これに対応できないことがある。 ・コンシェルジュのいる市役所に来られない人への対応が不十分である。 				
今後の方向性(改善目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談を受けた際に、別の相談先につなげられるよう、相談業務を実施している機関等の情報収集等に努める。 ・市役所だけでなく、子育て支援施設へ出向いてサービスを提供していく。 				委員からの意見
					意見なし

施策・事業評価シート

基本目標	子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる	数値目標			
	子育て世代の環境を改善し、共働きがしやすい環境の実現に向けた支援を進めます。保育サービスや教育環境の充実を進めるとともに、身近な地域で支え合う多様な視点に立った子育てしやすいまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		合計特殊出生率	1.55	-	1.6
安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思える人の割合	50.8% <small>(概ね2人に1人の割合)</small>	51.8%	65% <small>(概ね3人に2人の割合)</small>		
基本的方向	妊娠から出産、育児への切れ目のない支援				
	子どもを産み育てようとする親や子育てを行っている親が、不安や孤立感、負担感を乗り越えられるよう様々な支援を行う必要があります。特に、子どもを安心して産み育てられる環境の整備のため、親子の健康支援や情報提供、相談支援体制等、子どもやその家族を含めた総合的な支援を実施します。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号14 休日保育の実施	担当課	子育て支援課		
施策・事業の概要	働きたいと考えている保護者や、働きながら子育てをしている保護者のニーズに柔軟に対応するため、休日における保育を実施します。				
指標	休日保育利用者数				
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況
	-	-	-	延べ600人/年	0.0%
					◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27		H28		H29
	・近隣市町の休日保育利用状況等情報収集		・休日保育のニーズを把握するため長久手市の在園児の保護者就労状況の把握		・休日保育を実施する保育園の調整及び実施に向けた準備
					H30(7月末まで)
					5月6日から事業開始 ・登録人数 35人 ・延べ利用人数 57人 (一日あたりの受け入れ可能人数は8人)
課題	利用申し込み後に保護者の勤務シフトの変更などにより、キャンセルが発生すること。				
今後の方向性(改善目標)	安全に保育を実施するため、事前予約により休日保育の受入れを行っているため、仕事の都合が変わるなどキャンセルが発生してしまうことがあるため、保育する上で良い方法を今後も検討していく。			委員からの意見	
				意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる	数値目標			
	子育て世代の環境を改善し、共働きがしやすい環境の実現に向けた支援を進めます。保育サービスや教育環境の充実を進めるとともに、身近な地域で支え合う多様な視点に立った子育てしやすいまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		合計特殊出生率	1.55	-	1.6
安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思える人の割合	50.8% <small>(概ね2人に1人の割合)</small>	51.8%	65% <small>(概ね3人に2人の割合)</small>		
基本的方向	妊娠から出産、育児への切れ目のない支援				
	子どもを産み育てようとする親や子育てを行っている親が、不安や孤立感、負担感を乗り越えられるよう様々な支援を行う必要があります。特に、子どもを安心して産み育てられる環境の整備のため、親子の健康支援や情報提供、相談支援体制等、子どもやその家族を含めた総合的な支援を実施します。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号15 産後健康診査事業		担当課	健康推進課	
施策・事業の概要	出産後の母体の健康確保を図るとともに、経済的な負担を軽減するため産後健康診査の公費負担助成を実施します。				
指標	産後健康診査受診率				
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況
	-	69.4%/年	96.2%	80%/年	120.0%
					◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27		H28		H29
	-		<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始 ・本市に住所のある母親に対し、産後8週以内(出産の翌日から56日間)に受けた産後健診1回分を助成する(上限金額5,000円) ・対象者644人中447人が実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・本市に住所のある母親に対し、産後8週以内(出産の翌日から56日間)に受けた産婦健診1回分を助成する(上限金額5,000円) ・対象者676人中650人が実施
課題	なし				
今後の方向性(改善目標)	産後健康診査を通して、医療機関と市とで連携し、要支援産婦に対し、適切に支援を行っていく。			委員からの意見	
				意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる		数値目標			
	子育て世代の環境を改善し、共働きがしやすい環境の実現に向けた支援を進めます。保育サービスや教育環境の充実を進めるとともに、身近な地域で支え合う多様な視点に立った子育てしやすいまちづくりを進めます。		指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
			合計特殊出生率	1.55	-	1.6
		安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思える人の割合	50.8% <small>(概ね2人に1人の割合)</small>	51.8%	65% <small>(概ね3人に2人の割合)</small>	
基本的方向	地域で支え合う子育て支援					
	核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、高齢者や近隣の住民等から子育てに対する助言や支援、協力を得ることが困難な状況となっています。このような状況の中、かつて地域で担っていた役割を取り戻し、お互いに支え合うことで、一丸となって子育てを支援する環境づくりに努めます。					
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号16 保育園、児童館等での地域交流事業(「保育園おたすけたい」事業)			担当課	子育て支援課	
施策・事業の概要	若者から高齢者まで幅広い世代の地域住民が保育園や児童館、児童クラブ等の環境整備や行事の補助などに知識や能力を活かしてボランティアとして関わり、子どもたちと交流することにより、地域に根ざした保育園、児童館等を目指します。					
指標	保育園、児童館等での地域交流事業参加者数					
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況	
	-	延べ509人/年	延べ724人/年	延べ360人/年	201.1%	◎…目標達成 ○…実績値(H28)≤実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園おたすけたい開始(登録数60人 市内全7園で実施) ・保育園で開催するイベント(散歩やカレーづくり等)のお手伝い ・延べ205人参加(保育園のみ) 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童館おたすけたい…6施設で実施、講座の開催や館外整備等のお手伝い/登録数50人 ・保育園おたすけたい…7施設で実施、清掃や草取りなどの環境整備、園児の散歩同行等のお手伝い/登録数60人 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童館おたすけたい…6施設で実施、講座の開催や館外整備等のお手伝い/登録数57人 ・保育園おたすけたい…7施設で実施、清掃や草取りなどの環境整備、園児の散歩同行等のお手伝い/登録数62人 ・西保育園に「保育園おたすけたい」の活動拠点を整備(国の交付金を活用)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館おたすけたい…6施設で実施、講座の開催や館外整備等のお手伝い/登録数57人 ・保育園おたすけたい…7施設で実施、清掃や草取りなどの環境整備、園児の散歩同行等のお手伝い/登録数62人
課題	各保育園(児童館)毎に登録者のばらつきがあり、中には登録者数が少ない施設がある。					
今後の方向性(改善目標)	保育園・児童館おたすけたいの活動を広めることにより、様々な方々が、保育園や児童館の運営にボランティアで関わることで、地域の人とつながった運営を目指します。				委員からの意見	
					意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる	数値目標				
	子育て世代の環境を改善し、共働きがしやすい環境の実現に向けた支援を進めます。保育サービスや教育環境の充実を進めるとともに、身近な地域で支え合う多様な視点に立った子育てしやすいまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)	
		合計特殊出生率	1.55	-	1.6	
	安心して子どもを産み、育てることができるまちだと 思う人の割合	50.8% <small>(概ね2人に1人の割合)</small>	51.8%	65% <small>(概ね3人に2人の割合)</small>		
基本的方向	地域で支え合う子育て支援					
	核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、高齢者や近隣の住民等から子育てに対する助言や支援、協力を得ることが困難な状況となっています。このような状況の中、かつて地域で担っていた役割を取り戻し、お互いに支え合うことで、一丸となって子育てを支援する環境づくりに努めます。					
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号17 地域学校サポート事業		担当課	教育総務課		
施策・事業の概要	学校、保護者、地域がともに連携し、子どもたちが安心、安全な生活ができるようにサポートします。登下校時の見守りや、授業中における障がいのある子などの支援をサポート隊が行い、地域で、子どもを育てていく関係を構築します。					
指標	地域学校サポート隊参加者数					
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況	
	-	200人/年	270人/年	700人/年	38.6%	
					○…目標達成 ○…実績値(H28)≤実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)	
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)
	-		<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の見守り活動を中心に、市全体で200人が地域学校サポート隊に参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の見守り活動、学校敷地内の除草・植え込みの剪定等の環境美化活動、朝の活動時間を利用した読み聞かせ活動に、保護者や地域の方に関わっていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の推進に向けて、学校と地域の連携・協働を推進する地域コーディネーターを長久手小学校区に1人配置し、ボランティア活動の現状把握を行った。
課題	これまでのボランティアの一方向的な活動だけでなく、学校のニーズに応じ、地域とさらなる連携・協働を進めるため、コーディネート機能を充実させ、地域で子どもを育てる仕組みを持続可能なものにしていく必要がある。					
今後の方向性(改善目標)	平成31年度までに、地域学校協働本部を長久手小学校区に立ち上げる予定である。			委員からの意見		
				意見なし		

施策・事業評価シート

基本目標	子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる	数値目標					
	子育て世代の環境を改善し、共働きがしやすい環境の実現に向けた支援を進めます。保育サービスや教育環境の充実を進めるとともに、身近な地域で支え合う多様な視点に立った子育てしやすいまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)		
		合計特殊出生率	1.55	-	1.6		
	安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思える人の割合	50.8% <small>(概ね2人に1人の割合)</small>	51.8%	65% <small>(概ね3人に2人の割合)</small>			
基本的方向	地域で支え合う子育て支援						
	核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、高齢者や近隣の住民等から子育てに対する助言や支援、協力を得ることが困難な状況となっています。このような状況の中、かつて地域で担っていた役割を取り戻し、お互いに支え合うことで、一丸となって子育てを支援する環境づくりに努めます。						
具体的な施策・事業							
施策・事業名	取組番号18 子どもチャレンジ事業(子どもの夢サポート事業)		担当課	教育総務課			
施策・事業の概要	子どもの積極的な学習等の取り組みを応援することで、子どもの主体性を育成します。子どもが抱いた「夢」や「学習」等に対して、子ども自ら課題を見つけ、達成する過程で主体性を育てていき、大人は最小限の助言をします。						
指標	子どもチャレンジ事業参加者数						
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況		
	-	-	-	60人/年	0.0%	△	◎…目標達成 ○…実績値(H28)≤実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)	
	-		<ul style="list-style-type: none"> ・先進実施自治体である瀬戸市教育委員会の方を講師に招き、事例等を紹介する勉強会を市民と行った。 参加者数 60人 		<ul style="list-style-type: none"> ・市民主体で事業を実施する方法について、調査や研究を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育振興基本計画策定過程において、事業実施に向けての方法を再考しているところである。 	
課題	学校教育現場では、各教科で「主体的・対話的で深い学びの実践」を行っており、さらに子どもチャレンジ事業を実施するためには、他課や市民との連携が必要になると考えられる。						
今後の方向性(改善目標)	委員からの意見						
	教育総務課だけではなく、関連する他課等と連携して事業を実施できないか検討する予定である。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもチャレンジ事業について、子どものやってみたいことを応援する長久手市であってほしいが、近年、部活動の教員負担が問題になっているとおり、これ以上教員の負担を増やすのは良くないのでは。 ・次期総合戦略にも入れるとなると、課題にあるように事業の実施体制について検討していく必要がある。 ・長久手市には、モリコロパークがあるので、そこを活用し社会教育がしやすい環境を整えていってほしい。 ・子どもチャレンジ事業や長久手版「プレーパーク」事業など、子どもの主体性を育てるのに寄与するような良い取組があるので、それぞれが単独で事業を行うのではなく、連携して行うことを考えてほしい。 					

施策・事業評価シート

基本目標	子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる	数値目標				
	子育て世代の環境を改善し、共働きがしやすい環境の実現に向けた支援を進めます。保育サービスや教育環境の充実を進めるとともに、身近な地域で支え合う多様な視点に立った子育てしやすいまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)	
		合計特殊出生率	1.55	-	1.6	
	安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思ふ人の割合	50.8% <small>(概ね2人に1人の割合)</small>	51.8%	65% <small>(概ね3人に2人の割合)</small>		
基本的方向	地域で支え合う子育て支援					
	核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、高齢者や近隣の住民等から子育てに対する助言や支援、協力を得ることが困難な状況となっています。このような状況の中、かつて地域で担っていた役割を取り戻し、お互いに支え合うことで、一丸となって子育てを支援する環境づくりに努めます。					
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号19 土曜日学習サポート事業	担当課	生涯学習課			
施策・事業の概要	子どもたちに、学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上や学習習慣の定着を図ることを目的とし、土曜日に学習等の機会を提供します。					
指標	土曜日学習サポート事業参加者数					
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況	
	-	延べ264人/年	延べ480人/年	延べ200人/年	240.0%	
					◎…目標達成 ○…実績値(H28)≤実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)	
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)
	-		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館で市内小学校1年生から4年生までの土曜英語事業を試行 (1,2年生)20人×8回=延べ160人参加 (3,4年生)13人×8回=延べ104人 		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館で市内小学校1年生から4年生までの土曜英語事業を試行 (1,2年生)40人×8回=延べ320人参加 (3,4年生)20人×8回=延べ160人参加 	土曜英語事業の受講生を募集し、定員を上回る応募があった。募集人員 (1,2年生)20人×3クラス=60人 募集結果 94名受付
課題	なし					
今後の方向性(改善目標)	3,4年生は平成30年度から、外国語活動が授業の一環として取り入れられるようになったことから、3,4年生クラスを受講希望の多い1,2年生向けの講座として実施する。				委員からの意見	
					意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる	数値目標			
	子育て世代の環境を改善し、共働きがしやすい環境の実現に向けた支援を進めます。保育サービスや教育環境の充実を進めるとともに、身近な地域で支え合う多様な視点に立った子育てしやすいまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		合計特殊出生率	1.55	-	1.6
	安心して子どもを産み、育てることができるまちだと 思う人の割合	50.8% <small>(概ね2人に1人の割合)</small>	51.8%	65% <small>(概ね3人に2人の割合)</small>	
基本的方向	地域で支え合う子育て支援				
	核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、高齢者や近隣の住民等から子育てに対する助言や支援、協力を得ることが困難な状況となっています。このような状況の中、かつて地域で担っていた役割を取り戻し、お互いに支え合うことで、一丸となって子育てを支援する環境づくりに努めます。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号20 放課後子ども教室の拡充		担当課	子育て支援課	
施策・事業の概要	放課後に小学校の教室を活用し、小学生が安心・安全に集うことができる居場所として様々な体験・自主学習・交流活動を行います。現在、西小学校、南小学校の2校で実施しており、今後、東小学校の増築にあわせて、事業の拡充をはかり、平成31年度を目標に全小学校区で開室します。				
指標	放課後子ども教室利用者数				
	基準値(H26) 延べ7,312人 ／年	実績値(H28) 延べ11,691人 ／年	実績値(H29) 延べ13,759人 ／年	目標値(H31) 延べ20,000人 ／年	
				目標値の達成状況 68.8% ○ ◎…目標達成 ○…実績値(H28)≤実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)	
これまでの取組内容	H27		H28		
	<ul style="list-style-type: none"> ・西小(224回、延べ3,394人) ・南小(223回、延べ5,324人) で実施 ・東小開設準備		<ul style="list-style-type: none"> ・西小(223回、延べ3,300人) ・南小(229回、延べ4,761人) ・東小(230回、延べ3,630人) の3小学校で実施		
			H29		
			<ul style="list-style-type: none"> ・西小(220回、延べ4,097人) ・南小(229回、延べ4,365人) ・東小(219回、延べ5,297人) の3小学校で実施		
	H30(7月末まで)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・西小(70回、延べ2,106人) ・南小(74回、延べ2,291人) ・東小(71回、延べ2,203人) の3小学校で実施 南小学校と北小学校において、放課後子ども教室と児童クラブを実施するための、多目的棟を整備している。				
課題	市が洞小学校及び長久手小学校で放課後子ども教室を開設するために、小学校の空き教室や施設内の空きスペースの確保の可否について、引き続き教育委員会と協議を行う必要がある。				
今後の方向性(改善目標)	現在、南小学校と北小学校で放課後子ども教室と児童クラブを実施するための多目的棟の整備工事を行っており、完成後、それぞれの建物内で実施予定。引き続き、全小学校区(6小学校区)で放課後子ども教室を開室するために、未実施である市が洞小学校及び長久手小学校における放課後子ども教室の整備に向けた協議を、教育委員会と継続する。			委員からの意見	
				意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる		数値目標			
	<p>今後も人口の増加が見込まれつつも、将来訪れる少子高齢化による生産年齢人口の減少で、財政規模の縮小によるサービスの低下が想定されます。これらの課題の解決には市民の力が不可欠となります。今のうちから市民が自ら地域の課題を解決する力を身につけ、さらにはコミュニティの活性化を図ることにより、市民同士の生活支援につながる取組を進めます。</p> <p>また、いつまでも元気に活動できるよう、市民の健康増進を支援し、生涯を通じていきいきと暮らすことができる場の創出や、健康寿命の延伸を図ります。</p>		指標名	基準値 (H26)	実績値 (H28)	目標値 (H31)
			地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合	20.2% (概ね5人に1人の割合)	22%	50% (概ね2人に1人の割合)
健康寿命	男性79.7歳 女性83.5歳	-	延伸			
基本的方向	市民が支え合うコミュニティをつくる					
	<p>行政では対応できない地域の問題解決や、緊急時にお互いを助け合える安心安全なまちづくりには、コミュニティの役割が重要となっています。地域の中で市民同士が協力してコミュニティづくりを促進するため、地域の特性を活かした小学校区単位の小さな自治の実現と市民主体の地域づくり活動を進める新しいコミュニティの形を構築します。</p>					
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号21 小さな拠点形成事業(まちづくり協議会設立と交流拠点整備)			担当課	たつせがある課	
施策・事業の概要	小学校区単位で地域活動を行っている様々な活動団体(組織)をネットワーク化して、「まちづくり協議会」を設立し、地域の課題を解決する取組を実施する仕組みづくりを行います。また、まちづくり協議会の活動及び地域交流の拠点となる地域共生ステーションを小学校区ごとに整備します。					
指標	まちづくり協議会設立地区数					
	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H31)	目標値の達成状況	
	-	0地区/2年	1地区/3年	6地区/5年	16.7%	○
					◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)	
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)
	・西小及び市が洞小学校区でまちづくり協議会設立に向けた準備会を立ち上げ ※西小校区共生ステーションは、平成25年度に供用開始		・北小学校区でまちづくり協議会設立に向けた検討会を立ち上げ		・H29.4西小学校区まちづくり協議会設立 ・市が洞小校区共生ステーションの共用開始	・H30.7北小学校区まちづくり協議会設立準備会設立 ・H30.6岩作区に対して、まちづくり協議会について説明を実施
課題	まちづくり協議会及び地域共生ステーションを小学校区単位で整備する予定であるが、各小学校区と地域の生活圏域(区、自治会連合会)と異なり、小学校区単位でまちづくりを行うことに対して、区、自治会連合会との調整が難しい。					
今後の方向性(改善目標)	・まちづくり協議会 平成30年度内に市が洞小学校区まちづくり協議会設立を目指します。その他の小学校区、区、自治会連合会等へ、まちづくり協議会の説明及び理解を図っていきます。 ・地域共生ステーション 北小校区が平成31年度に、南小校区が平成32年度に共用開始予定。				委員からの意見	
					意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる	数値目標			
	今後も人口の増加が見込まれつつも、将来訪れる少子高齢化による生産年齢人口の減少で、財政規模の縮小によるサービスの低下が想定されます。これらの課題の解決には市民の力が不可欠となります。今のうちから市民が自ら地域の課題を解決する力を身につけ、さらにはコミュニティの活性化を図ることにより、市民同士の生活支援につながる取組を進めます。また、いつまでも元気に活動できるよう、市民の健康増進を支援し、生涯を通じていきいきと暮らすことができる場の創出や、健康寿命の延伸を図ります。	指標名	基準値 (H26)	実績値 (H28)	目標値 (H31)
		地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合	20.2% (概ね5人に1人の割合)	22%	50% (概ね2人に1人の割合)
健康寿命	男性79.7歳 女性83.5歳	-	延伸		

基本的方向	<p>市民が支え合うコミュニティをつくる</p> <p>行政では対応できない地域の問題解決や、緊急時にお互いを助け合える安心安全なまちづくりには、コミュニティの役割が重要となっています。地域の中で市民同士が協力してコミュニティづくりを促進するため、地域の特性を活かした小学校区単位の小さな自治の実現と市民主体の地域づくり活動を進める新しいコミュニティの形を構築します。</p>
--------------	--

具体的な施策・事業							
施策・事業名	取組番号22 市民と職員による市民協働プロジェクト				担当課	たつせがある課	
施策・事業の概要	地域のことは地域で考え、地域で取り組む「新しいまちづくりの仕組み」をつくることを目的として、市民と市職員で課題を解決するために、地域と連携した事業を進めていくとともに、市の施策や事業と協働することで「まちづくり」に関わっていきます。						
指標	市民と職員による市民協働プロジェクトチームが関わった事業数						
	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H31)	目標値の達成状況		
	2事業/年	10事業/年	19事業/年	20事業/年	95.0%	○	
	H27		H28		H29	H30(7月末まで)	
これまでの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民まじりのブース出店、防犯活動としてジョギングパトロールを行うなど計14事業を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・フットサルやジョギングのスポーツを通して多世代が交流するイベント等を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・防犯活動としてのジョギングパトロール、リコモテラスに係る協働事業等を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・防犯活動としてのジョギングパトロールを継続して実施。
課題	市民協働プロジェクトを進めるため、「なでラボ」という団体が生まれたが、本事業は、平成27年度をもって、市民の自主事業に切り替わっており、プロジェクトメンバーそれぞれが、自主的かつ主体性をもって活動を行っているため、特に市として課題はない。						
今後の方向性 (改善目標)	プロジェクトメンバーの個々の活動を尊重しながら、必要に応じて支援を行っていく。				委員からの意見		
					意見なし		

施策・事業評価シート

基本目標	地域をつながり構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる		数値目標			
	今後も人口の増加が見込まれつつも、将来訪れる少子高齢化による生産年齢人口の減少で、財政規模の縮小によるサービスの低下が想定されます。これらの課題の解決には市民の力が不可欠となります。今のうちから市民が自ら地域の課題を解決する力を身につけ、さらにはコミュニティの活性化を図ることにより、市民同士の生活支援につながる取組を進めます。また、いつまでも元気に活動できるよう、市民の健康増進を支援し、生涯を通じていきいきと暮らすことができる場の創出や、健康寿命の延伸を図ります。		指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
			地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合	20.2% (概ね5人に1人の割合)	22%	50% (概ね2人に1人の割合)
健康寿命	男性79.7歳 女性83.5歳	-	延伸			
基本的方向	市民が支え合うコミュニティをつくる					
	行政では対応できない地域の問題解決や、緊急時にお互いを助け合える安心安全なまちづくりには、コミュニティの役割が重要となっています。地域の中で市民同士が協力してコミュニティづくりを促進するため、地域の特性を活かした小学校区単位の小さな自治の実現と市民主体の地域づくり活動を進める新しいコミュニティの形を構築します。					
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号23 コミュニティ・ソーシャルワーカー配置事業			担当課	福祉施策課	
施策・事業の概要	各小学校区に配置するコミュニティ・ソーシャルワーカーが中心となって設置する地区社協が、地域福祉の課題解決に取り組むことで、介護保険の対象とならない高齢者や閉じこもりがちな高齢者、子育て相談、DV相談、若者の不登校やひきこもり、障がい者の就労支援など、制度の狭間で困っている人を支援します。					
指標	コミュニティ・ソーシャルワーカー相談件数					
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況	
	延べ370件/年	延べ2,167件/年	延べ3,058件/年	延べ3,600件/年	84.9%	○ ◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)
	<ul style="list-style-type: none"> ・西小共生ステーションや社会福祉協議会等でコミュニティ・ソーシャルワーカーによる相談を実施 ・西小及び北小学校区で実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・西小共生ステーションや社会福祉協議会等でコミュニティ・ソーシャルワーカーによる相談を実施 ・西小、北小及び市が洞小学校区で実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生ステーション(西小・市が洞小)や社会福祉協議会等でコミュニティ・ソーシャルワーカーによる相談を実施 ・西小、北小、市が洞小及び南小学校区で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生ステーション(西小・市が洞小)や社会福祉協議会等でコミュニティ・ソーシャルワーカーによる相談を実施 ・西小、北小、市が洞小及び南小学校区で実施 ・未実施の東小及び長久手小学校区での実施に向けて検討開始
課題	地域住民が主体的に地域の問題解決ができるよう、地域課題に関する学習会などの実施や小規模な地域で住民同士が話し合う場を設け、地域で中心となって活動する人材の発掘や組織化が必要である。					
今後の方向性(改善目標)	東小及び長久手小学校区を含めた全小学校区で、地域住民等と、地域の問題解決に向けた学習やその仕組みについての意見交換を行いながら、進めていく。				委員からの意見	
					意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる		数値目標			
	<p>今後も人口の増加が見込まれつつも、将来訪れる少子高齢化による生産年齢人口の減少で、財政規模の縮小によるサービスの低下が想定されます。これらの課題の解決には市民の力が不可欠となります。今のうちから市民が自ら地域の課題を解決する力を身につけ、さらにはコミュニティの活性化を図ることにより、市民同士の生活支援につながる取組を進めます。</p> <p>また、いつまでも元気に活動できるよう、市民の健康増進を支援し、生涯を通じていきいきと暮らすことができる場の創出や、健康寿命の延伸を図ります。</p>		指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
			地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合	20.2% (概ね5人に1人の割合)	22%	50% (概ね2人に1人の割合)
健康寿命	男性79.7歳 女性83.5歳	-	延伸			
基本的方向	市民が支え合うコミュニティをつくる					
	<p>行政では対応できない地域の問題解決や、緊急時にお互いを助け合える安心安全なまちづくりには、コミュニティの役割が重要となっています。</p> <p>地域の中で市民同士が協力してコミュニティづくりを促進するため、地域の特性を活かした小学校区単位の小さな自治の実現と市民主体の地域づくり活動を進める新しいコミュニティの形を構築します。</p>					
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号24 子ども防火活動事業			担当課	安心安全課	
施策・事業の概要	小学生の頃から防火や防災について学んでもらい、将来の地域防火や防災の担い手を育成することを目的として設立します。					
指標	子ども防火活動登録者数					
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況	
	-	-	31人/年	30人/年	103.3%	◎
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)
	-		<ul style="list-style-type: none"> ・先進事例の視察(千葉県浦安市) 		<ul style="list-style-type: none"> ・9月に長久手市キッズ消防団を結団し、31人(男20人・女11人)が入団 ・キッズ消防団のFacebookページを開設 ・月1回のペースで活動を実施 	現在、42名(男24人・女18人)で活動
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の活動内容(救急講習・防災講習・消防体験等)が年間を通じて構成しており、複数年在籍する団員には、主旨を変えずに手法を変更するなどしないと飽きがでてくる可能性があり課題である。 					
今後の方向性(改善目標)	少年消防クラブ交流会(全国大会)に参加するなど、引き続き積極的に活動し、将来の防火・防災の担い手を育成できるよう活動する。			委員からの意見		
				意見なし		

施策・事業評価シート

基本目標	地域をつながり構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる	数値目標			
	今後も人口の増加が見込まれつつも、将来訪れる少子高齢化による生産年齢人口の減少で、財政規模の縮小によるサービスの低下が想定されます。これらの課題の解決には市民の力が不可欠となります。今のうちから市民が自ら地域の課題を解決する力を身につけ、さらにはコミュニティの活性化を図ることにより、市民同士の生活支援につながる取組を進めます。また、いつまでも元気に活動できるよう、市民の健康増進を支援し、生涯を通じていきいきと暮らすことができる場の創出や、健康寿命の延伸を図ります。	指標名	基準値 (H26)	実績値 (H28)	目標値 (H31)
	地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合	20.2% (概ね5人に1人の割合)	22%	50% (概ね2人に1人の割合)	
	健康寿命	男性79.7歳 女性83.5歳	-	延伸	

基本的方向	市民の健康寿命を延ばす
	若い世代の多い本市においても、確実に高齢化が進むことから、市民一人ひとりが生活習慣を改善し、健康を維持していくことが必要となります。いつまでも元気に活動できるよう、市民の健康増進や生きがいづくりを支援し、生涯を通じていきいきと暮らすことができる場を創出し、健康寿命の延伸を図ります。

具体的な施策・事業

施策・事業名	取組番号25 健康チャレンジャー事業(健康マイレージ)	担当課	健康推進課		
施策・事業の概要	生活習慣の改善につながる取組を実践し、各種検診の受診、健康講座、イベント、スポーツ教室、などの「健康づくりメニュー」を取り組んだ方にマイレージ(ポイント)を付与します。マイレージを様々な特典に交換することにより、健康づくりにチャレンジしている人を支援します。				
指標	健康マイレージ優待カード発行者数				
	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H31)	目標値の達成状況
	-	121人/年	176人/年	150人/年	117.3% ◎…目標達成 ○…実績値(H28)≤実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)
これまでの取組内容	H27	H28	H29	H30(7月末まで)	
	-	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳以上の市民を対象として事業開始 ・健康づくりメニューを実施し、ポイントを貯め、50ポイント達成者を対象に以下の特典付与 ①「MyCa(※)」の贈呈 ②協賛企業の賞品が当たる抽選会を2回実施 ※提示すると県内協力店で特典が受けられるあいち健康づくり応援カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりメニューに関することを実施し、ポイントを貯め、50ポイント達成者を対象に以下の特典付与 ①「MyCa」の贈呈 ②協賛企業の賞品が当たる抽選会を1回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイレージ達成者20名(7月31日) ・対象を拡大(18歳以上の市民に加え、18歳以上の在学、在勤者を追加)。 ・健康づくりメニューを実施し、ポイントを貯め、50ポイント達成者を対象に以下の特典付与 ①「MyCa」の贈呈 ②協賛企業の賞品が当たる抽選会(2月実施予定)の抽選権利を贈呈。 	
課題	高齢者層の参加が多く、20～40代の参加者が少ない。				
今後の方向性(改善目標)	各健康講座、検診等で事業の周知を図っていく。			委員からの意見	
				意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる		数値目標			
	今後も人口の増加が見込まれつつも、将来訪れる少子高齢化による生産年齢人口の減少で、財政規模の縮小によるサービスの低下が想定されます。これらの課題の解決には市民の力が不可欠となります。今のうちから市民が自ら地域の課題を解決する力を身につけ、さらにはコミュニティの活性化を図ることにより、市民同士の生活支援につながる取組を進めます。 また、いつまでも元気に活動できるよう、市民の健康増進を支援し、生涯を通じていきいきと暮らすことができる場の創出や、健康寿命の延伸を図ります。		指標名	基準値 (H26)	実績値 (H28)	目標値 (H31)
			地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合	20.2% (概ね5人に1人の割合)	22%	50% (概ね2人に1人の割合)
健康寿命	男性79.7歳 女性83.5歳	-	延伸			
基本的方向	市民の健康寿命を延ばす					
	若い世代の多い本市においても、確実に高齢化が進むことから、市民一人ひとりが生活習慣を改善し、健康を維持していくことが必要となります。いつまでも元気に活動できるよう、市民の健康増進や生きがいづくりを支援し、生涯を通じていきいきと暮らすことができる場を創出し、健康寿命の延伸を図ります。					
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号26 若者の生活習慣病予防事業(39歳以下健診)			担当課	健康推進課	
施策・事業の概要	健康診査を受ける機会のない若い年齢(16歳から39歳まで)の人が健康診査を受け、自らが健康に意識を持ち、生活習慣病を早期から予防するように促します。					
指標	39歳以下健診受診者数					
	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H31)	目標値の達成状況	
	351人/年	368人/年	309人/年	400人/年	77.3%	△
					◎…目標達成 ○…実績値(H28)≤実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)	
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)
	・市民への事業周知 ①広報やホームページ ②乳幼児健診時のチラシ配布 ③事前に申込者へ受診券送付(希望者のみ) ・16歳から39歳までの方を対象とし、無料で検査を実施		・市民への事業周知 ①広報やホームページ ②乳幼児健診時のチラシ配布 ③事前に申込者へ受診券送付(希望者のみ) ・16歳から39歳までの方を対象とし、無料で検査を実施		・市民への事業周知 ①広報やホームページ ②乳幼児健診・子宮検診時のチラシ配布 ③事前に申込者へ受診券送付(希望者のみ) ・16歳から39歳までの方を対象とし、無料で検査を実施	・市民への事業周知 ①広報やホームページ ②乳幼児健診・子宮検診時のチラシ配布 ③事前に申込者へ受診券送付(希望者のみ) ・16歳から39歳までの方を対象とし、無料で検査を実施(H30から新たに血液検査の項目を追加(HbA1c・空腹時血糖))
課題	受診者が増加していない。					
今後の方向性(改善目標)	各行事、検診等で事業の周知を図り、受診率増加に繋げる。				委員からの意見	
					・事業の必要性や受診者が参加しやすいよう開催日等の実施方法を再検討した方が良い。	

施策・事業評価シート

基本目標	地域をつながり構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる		数値目標			
	<p>今後も人口の増加が見込まれつつも、将来訪れる少子高齢化による生産年齢人口の減少で、財政規模の縮小によるサービスの低下が想定されます。これらの課題の解決には市民の力が不可欠となります。今のうちから市民が自ら地域の課題を解決する力を身につけ、さらにはコミュニティの活性化を図ることにより、市民同士の生活支援につながる取組を進めます。</p> <p>また、いつまでも元気に活動できるよう、市民の健康増進を支援し、生涯を通じていきいきと暮らすことができる場の創出や、健康寿命の延伸を図ります。</p>		指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
			地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合	20.2% (概ね5人に1人の割合)	22%	50% (概ね2人に1人の割合)
健康寿命	男性79.7歳 女性83.5歳	-	延伸			
基本的方向	市民の健康寿命を延ばす					
	若い世代の多い本市においても、確実に高齢化が進むことから、市民一人ひとりが生活習慣を改善し、健康を維持していくことが必要となります。いつまでも元気に活動できるよう、市民の健康増進や生きがいづくりを支援し、生涯を通じていきいきと暮らすことができる場を創出し、健康寿命の延伸を図ります。					
具体的な施策・事業						
施策・事業名	取組番号27 地域保健活動の充実			担当課	健康推進課	
施策・事業の概要	住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、心や身体の様々な問題点を保健師に気軽に相談することができる「まちなか保健室」を設置します。誰もが健康相談等を受けることができるよう、必要のある家庭に訪問する地域保健活動も充実します。					
指標	保健師による地域での健康相談件数					
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況	
-	延べ537件/年	延べ件513/年	延べ240件/年	213.8%	◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)	
これまでの取組内容	H27		H28		H29	H30(7月末まで)
	-		<ul style="list-style-type: none"> ・市内の公共施設(西小共生ステーション(166回)、児童館(52回)、その他公共施設(47回))及び家庭訪問(272回)で健康相談を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・西小校区共生ステーション(189回)、市が洞小校区共生ステーション(7回)、児童館(68回)、老人憩の家・地域集会所・公民館・福祉の家(72回)で相談を実施 ・必要のある家庭への訪問(177回)を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・西小校区共生ステーション(44回)、市が洞小校区共生ステーション(13回)、児童館(21回)、老人憩の家・地域集会所・公民館・福祉の家・文化の家(35回)、中央図書館(4回)で相談を実施 ・必要のある家庭への訪問(73回)を実施
課題	特定の場所・人の相談だけではなく、幅広い人の健康相談を受けることが課題である。					
今後の方向性(改善目標)	1人でも多くの市民が、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、心や身体の様々な問題点を保健師に気軽に相談することができるよう、活動場所を広げていく。				委員からの意見	
					意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる	数値目標			
	本市の観光資源を活かし、市民が快適に楽しく暮らし、自らが住む地域に誇りを持ち、市民と来訪者が心豊かに交流する居心地の良いまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		観光交流者数	約320万人	約330万人	約350万人
地域における自慢すべき「宝」があると思う人の割合	26.6% (概ね4人に1人の割合)	26%	50% (概ね2人に1人の割合)		
基本的方向	地域資源を活かした長久手の魅力とオリジナリティを創造・発信する 農や健康、福祉等のまちづくり活動によって生み出された地域資源を発掘し磨き上げ、歴史・自然・文化等の観光資源と相互に関連づけながら、本市の魅力とオリジナリティを高めていきます。特に、人々に自宅、職場に次ぐ第三の居場所で、心地よい場所＝「サードプレイス」となりうる空間を提供することにより、住んでみたい、訪れてみたいと思ってもらえる本市のオリジナルの観光を展開していきます。 また、本市内外に多くある大学についても、本市の地域資源として捉え、活用し、さらなる魅力向上を目指します。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号28 シティプロモーション事業			担当課	たつせがある課
施策・事業の概要	民間の持つアイデアと活力を存分に発揮するため、観光交流協会を設立します。観光交流協会が中心となり、市民、大学、企業、関係団体との連携を図りながら長久手オリジナルの観光交流まちづくりを推進し、市内外に長久手の魅力を発信します。				
指標	観光交流協会取組事業数				
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況
	—	12事業/年	14事業/年	20事業/年	70.0%
	◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)				
これまでの取組内容	H27	H28		H29	H30(7月末まで)
	—	・長久手市観光交流協会(任意団体)設立 ・ながくて冬まつりの開催、観光交流ガイドブック、ながくてグルメまち歩きガイドブックの発行、ホームページの運営、特産品サイトの開発、Facebookの運用等		・長久手コレクション(旧・冬まつり)、長久手中央2号公園でのイベントの開催、旅行者用まちあるきマップ、地域情報紙(雑人)の発行(4回)、ホームページの運営、Facebookの運用、特産品(せんべい)の開発等	・観光交流ガイドブック(全面リニューアル版)の発行 ・事業実施に向けた準備
課題	・協会の事務所は、市の分庁舎を間借りしている状況であり、事業を円滑に進める環境が十分に整備されていない。 ・平成30年度中に協会が法人化する予定であり、協会の組織及び事業運営の見直しや地域と協同した観光地づくり(DMO)について検討をする必要がある。				
今後の方向性(改善目標)	・平成30年度中の法人化に向け、準備を進めていく。 ・平成32年度オープン予定のリモテラス公益施設を拠点とすることも含め、大学や企業、市民、関係団体等との連携事業を検討していく。			委員からの意見	
				意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる	数値目標			
	本市の観光資源を活かし、市民が快適に楽しく暮らし、自らが住む地域に誇りを持ち、市民と来訪者が心豊かに交流する居心地の良いまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		観光交流者数	約320万人	約330万人	約350万人
地域における自慢すべき「宝」があると思 う人の割合	26.6% (概ね4人に1人の割合)	26%	50% (概ね2人に1人の割合)		
基本的方向	地域資源を活かした長久手の魅力とオリジナリティを創造・発信する 農や健康、福祉等のまちづくり活動によって生み出された地域資源を発掘し磨き上げ、歴史・自然・文化等の観光資源と相互に関連づけながら、本市の魅力とオリジナリティを高めていきます。特に、人々に自宅、職場に次ぐ第三の居場所で、心地よい場所＝「サードプレイス」となりうる空間を提供することにより、住んでみたい、訪れてみたいと思ってもらえる本市のオリジナルの観光を展開していきます。 また、本市内外に多くある大学についても、本市の地域資源として捉え、活用し、さらなる魅力向上を目指します。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号29 ながくてアートフェスティバル			担当課	文化の家
施策・事業の概要	市内にあるアトリエやギャラリー、自宅、施設などを会場にして市内全域で繰り広げるアートイベント。企画・運営は市内の美術作家を中心に市民自らが行います。				
指標	ながくてアートフェスティバル参加者数				目標値の達成状況
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	
	延べ15,000人 ／年	延べ16,897人 ／年	延べ18,360人 ／年	延べ20,000人 ／年	91.8%
	◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)				
これまでの取組内容	H27	H28		H29	H30(7月末まで)
	・市内のアーティストと地域住民の交流を行うイベントを実施 ・文化の家をはじめとした公共施設や市内の様々なお店などでアート作品を展示	・市内のアーティストと地域住民の交流を行うイベントを実施 ・文化の家をはじめとした公共施設や市内の様々なお店などでアート作品を展示		・市内のアーティストと地域住民の交流を行うイベントを実施 ・文化の家をはじめとした公共施設や市内の様々なお店などでアート作品を展示	事業実施準備
課題	実行委員メンバーが毎年ほぼ変わらず、新規参加者が少ないため、毎年同じような作品が並ぶ。				
今後の方向性(改善目標)	実行委員会を通じ、市内企業とのコラボ等、今まで以上に新規参加者や新しい事業を積極的に取り入れ、常に新鮮味のある事業にしていく。			委員からの意見	
				意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる	数値目標			
	本市の観光資源を活かし、市民が快適に楽しく暮らし、自らが住む地域に誇りを持ち、市民と来訪者が心豊かに交流する居心地の良いまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		観光交流者数	約320万人	約330万人	約350万人
地域における自慢すべき「宝」があると思 う人の割合	26.6% (概ね4人に1人の割合)	26%	50% (概ね2人に1人の割合)		
基本的方向	地域資源を活かした長久手の魅力とオリジナリティを創造・発信する 農や健康、福祉等のまちづくり活動によって生み出された地域資源を発掘し磨き上げ、歴史・自然・文化等の観光資源と相互に関連づけながら、本市の魅力とオリジナリティを高めていきます。特に、人々に自宅、職場に次ぐ第三の居場所で、心地よい場所＝「サードプレイス」となりうる空間を提供することにより、住んでみたい、訪れてみたいと思ってもらえる本市のオリジナルの観光を展開していきます。 また、本市内外に多くある大学についても、本市の地域資源として捉え、活用し、さらなる魅力向上を目指します。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号30 大学連携提案事業助成金事業			担当課	たつせがある課
施策・事業の概要	地域資源である大学を活かしたまちづくりを進めるため、大学による行政(地域)の課題解決に取り組む調査、制度構築等に対して助成金を交付します。				
指標	大学連携提案事業助成金交付件数				
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況
	—	2件/年	2件/年	4件/年	50.0%
	◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)				
これまでの取組内容	H27	H28		H29	H30(7月末まで)
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりPR動画の制作(愛知県立芸術大学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災情報の多言語化(愛知県立大学) ・バーチャルリアリティを活用した体験型歴史プロジェクト(愛知県立大学) ※バーチャル技術による3D映像の制作 		<ul style="list-style-type: none"> ・介助犬総合訓練センター「シンシアの丘」チャリティグッズ商品の開発(愛知県立芸術大学) ・キャットレスキュー(愛知県立大学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・採択件数を4件に増やし、平成30年度の募集を開始
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が主体的に実施している事業が多く、学生の主体的な関わりが少ない。 ・採択事業の成果が、以後の大学連携に活かされてない。 				
今後の方向性(改善目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年8月に審査会を実施し、採択事業を決定する予定。 ・制度の活用をさらに促すため、大学と協議しながら制度内容の見直しを進める。 ・採択事業の成果報告を、より効果的に実施できるよう検討する。 			委員からの意見	
				意見なし	

施策・事業評価シート

基本目標	地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる	数値目標			
	本市の観光資源を活かし、市民が快適に楽しく暮らし、自らが住む地域に誇りを持ち、市民と来訪者が心豊かに交流する居心地の良いまちづくりを進めます。	指標名	基準値 (H26)	実績値 (H28)	目標値 (H31)
		観光交流者数	約320万人	約330万人	約350万人
地域における自慢すべき「宝」があると思う人の割合	26.6% <small>(概ね4人に1人の割合)</small>	26%	50% <small>(概ね2人に1人の割合)</small>		
基本的方向	地域資源を活かした長久手の魅力とオリジナリティを創造・発信する				
	農や健康、福祉等のまちづくり活動によって生み出された地域資源を発掘し磨き上げ、歴史・自然・文化等の観光資源と相互に関連づけながら、本市の魅力とオリジナリティを高めていきます。特に、人々に自宅、職場に次ぐ第三の居場所で、心地よい場所＝「サードプレイス」となりうる空間を提供することにより、住んでみたい、訪れてみたいと思ってもらえる本市のオリジナルの観光を展開していきます。また、本市内外に多くある大学についても、本市の地域資源として捉え、活用し、さらなる魅力向上を目指します。				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号31 長久手版「プレーパーク」事業			担当課	みどりの推進課
施策・事業の概要	「自分の責任で自由に遊ぶ」をコンセプトにした「遊び場＝プレーパーク」で、プレーリーダーや地域のボランティアが見守る中、子どもたちが屋外で遊ぶことを通して、主体性、社会性、コミュニケーション能力を育成します。				
指標	プレーパーク参加者数				
	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H31)	目標値の達成状況
	—	—	—	延べ120人／年	0.0%
	◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)				
これまでの取組内容	H27		H28		H29
	・先進地視察		・市内のNPO法人代表によるこども塾周辺の視察 ・こども塾まつりの開催 151人が参加 (通常の予約プログラムとともに、プレーパークの実施につながるような予約なしの自由度の高い遊びを実施した)		・プレーパーク候補地の検討 ・こども塾まつりの開催 (226人参加) (通常の予約プログラムとともに、プレーパークの実施につながるような予約なしの自由度の高い遊びを実施した)
	H30(7月末まで)				
	・策定中の里山基本計画の取組の中で、プレーパーク候補地の具体的な検討を開始				
課題	・平成28年度にはプレーパークの運営希望団体がいたが、その後立ち消えとなったため、今後の運営を担う市民(団体)の発掘ができていない。 ・策定中の里山基本計画の取組の中で、プレーパークを含めこども塾を中心としたエリアの保全・活用を検討していくことが必要であり、プレーパークの候補地選定ができない。				
今後の方向性(改善目標)	委員からの意見				
	・今後の運営を担う市民(団体)の発掘のための研修の実施を検討する。 ・里山基本計画の中で、プレーパークの候補地についての方向性を明らかにする。				
	・候補地を民間の土地を借用するつもりであれば、土地の所有者が安心して貸せるような仕組みが必要である。 ・子どもチャレンジ事業や長久手版「プレーパーク」事業など、子どもの主体性を育てるのに寄与するような良い取組があるので、それぞれが単独で事業を行うのではなく、連携して行うことを考えてはどうか。 ・もし平成こども塾で実施するとなると、平成こども塾は遠いため、子ども達が行きやすいような移動手段を考えていただきたい。 ・子ども達が親の力を借りず安心して行ける場所に整備されると良い。 ・長久手市には大学が多いため、教員を目指している学生も多いと考える。そうした学生に協力してもらえると良い。				

施策・事業評価シート

基本目標	地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる	数値目標			
	本市の観光資源を活かし、市民が快適に楽しく暮らし、自らが住む地域に誇りを持ち、市民と来訪者が心豊かに交流する居心地の良いまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		観光交流者数	約320万人	約330万人	約350万人
地域における自慢すべき「宝」があると思 う人の割合	26.6% (概ね4人に1人の割合)	26%	50% (概ね2人に1人の割合)		
基本的方向	<p>人が集まり情報の受発信が行われる交流の場の創造</p> <p>観光交流等の情報の受発信、多様な市民活動を喚起しそれを発信することで、市民同士や来訪者との交流を促進し、市民主体の豊かな社会の創造を目指します。</p> <p>また、市民はもちろん、大学生、市民団体など、多様な主体が新たなコミュニティ活動を育み創出する場として、リニモ長久手古戦場駅周辺に新たな公益施設を整備します。</p>				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号32 リニモテラス整備事業			担当課	たつせがある課
施策・事業の概要	長久手古戦場駅前にまちの新たな顔として「リニモテラス」を整備し、市民の日常の暮らしを支え、訪れる人をもてなす空間を創出します。大学連携、観光交流、多文化共生等をテーマとした公益施設を設置し、市民活動団体、大学、学生等によるプログラム・イベントを展開し、おもてなしの空間及びまちなかの賑わいを創出します。				
指標	リニモテラス事業参加者数				
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況
	—	—	延べ791人／年	延べ30,000人／年	2.6%
	◎…目標達成 ○…実績値(H28)≤実績値(H29) △…実績値(H29)<実績値(H28)				
これまでの取組内容	H27		H28		H29
	・リニモテラス公益施設(仮称)整備基本計画策定		・リニモテラス公益施設(仮称)整備詳細計画作成		・市民による事業企画立案や施設運営の実証実験(100プロジェクト実施、市民ミーティング)、市民主体の管理・運営体制の検討、運営主体案の提言、Webサイト開設
	・リニモテラス公益施設(仮称)の設計に係る意見収集のため、隣人まつりと題した市民参加型ワークショップを2回開催(延べ176人参加)				
課題	リニモテラス公益施設(仮称)の市民主体の管理運営を行うため、担い手となる市民の発掘を、市民による実証実験(100プロジェクト)を通じて行ってきたが、リニモテラスを活用して活動する「プレイヤー」は発掘できたが、管理・運営を主体的に行う市民は、発掘できなかった。				
今後の方向性(改善目標)	・実現可能性のある新たな管理・運営体制を検討していく。 ・平成30年度に基本設計・実施設計を実施し、平成31年度に建設工事、平成32年度に供用開始を予定している。			委員からの意見	
				・リニモテラスが子どもたち同士のコミュニティが生まれる場になると良い。	

施策・事業評価シート

基本目標	地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる	数値目標			
	本市の観光資源を活かし、市民が快適に楽しく暮らし、自らが住む地域に誇りを持ち、市民と来訪者が心豊かに交流する居心地の良いまちづくりを進めます。	指標名	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
		観光交流者数	約320万人	約330万人	約350万人
地域における自慢すべき「宝」があると思う人の割合	26.6% (概ね4人に1人の割合)	26%	50% (概ね2人に1人の割合)		
基本的方向	<p>人が集まり情報の受発信が行われる交流の場の創造</p> <p>観光交流等の情報の受発信、多様な市民活動を喚起しそれを発信することで、市民同士や来訪者との交流を促進し、市民主体の豊かな社会の創造を目指します。</p> <p>また、市民はもちろん、大学生、市民団体など、多様な主体が新たなコミュニティ活動を育み創出する場として、リニモ長久手古戦場駅周辺に新たな公益施設を整備します。</p>				
具体的な施策・事業					
施策・事業名	取組番号33 まちセンカフェ(まちづくりセンターを拠点とした市民団体による交流促進事業)			担当課	たつせがある課
施策・事業の概要	地域住民、市民活動団体、市職員が語り合いながら、活動のつながりと広がりを生み出し、また、「まちづくりセンター」を気軽に便利な施設として活用し、人材、地域ニーズ、アイデアを発掘するため、カフェを開催します。				
指標	まちセンカフェ参加者数				
	基準値(H26)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H31)	目標値の達成状況
	延べ300人/年	延べ162人/年	延べ190人/年	延べ400人/年	47.5%
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ◎…目標達成 ○…実績値(H28)≦実績値(H29) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ○…実績値(H29)≦実績値(H28) △…実績値(H29)<実績値(H28) </div>				
これまでの取組内容	H27	H28	H29	H30(7月末まで)	
	カフェのように落ち着いた雰囲気の中で市民同士が気軽に出会い、交流するイベントを実施。長久手の歴史や里山に関する講座を開催した。 ・講座 6回 ・延べ121人の参加	カフェのように落ち着いた雰囲気の中で市民同士が気軽に出会い、交流するイベントを実施。長久手の歴史や里山に関する講座を開催した。 ・講座 9回 ・まちセンカフェの運営を市民団体のういっの会に事業委託	カフェのように落ち着いた雰囲気の中で市民同士が気軽に出会い、交流するイベントを実施。身近な貧困の問題や里親に関する講座を開催した。 ・講座 9回 ・まちセンカフェの運営を市民団体のういっの会に事業委託	カフェのように落ち着いた雰囲気の中で市民同士が気軽に出会い、交流するイベントを実施。長久手の歴史や社会的に孤立している人たちへの支援活動に関する講座を開催した。 ・講座 3回(延べ92人参加)/10回 ・まちセンカフェの運営を市民団体のういっの会に事業委託	
課題	・講座のテーマがやや専門的であると、興味・関心がある市民に限られ、参加者同士のつながりや活動の広がり効果が低くなる傾向がある。 ・講座は、各回で完結しており、その後の交流の場(フォローアップ)の提供ができていない。				
今後の方向性(改善目標)	まちセンカフェ参加者をはじめとした総合的な交流会の実施等を検討する。			委員からの意見	
				意見なし	